

令和6年度 教科研修会Ⅱ 音楽科 授業の様子

題 材 名	荒城の月		
授 業 学 級	2年A組 (40名)	授 業 者	志賀 浩介
教 科 の 学 び	A表現 (1) 歌唱 ア, イ (ア), ウ (ア)		

【本時の様子】

生徒たちは、歌詞から想像した情景や心情を表すために、どのような表現の工夫ができるか、強弱や速度に着目して考え、グループや個人などの形態を選んで追求しました。

4番の最後「昔の光 いまいづこ」という部分に寂しさや虚しさを感じ取った生徒は、そういった心情を「いまいづこ」の部分をだんだん小さく、だんだんゆっくり歌うことで表すことができると考え、友との歌い試しや意見交換を通して、ただ小さく歌うだけではなく、「いま」の部分を、ゆっくり時間をかけて発音するなど、具体的な歌い方を見出していました。

また、各旋律の歌い方を考える中で、強調したいところだけではなく、その前後の旋律をどう歌うか考えることで、より自分たちの表現を生かすことができそうだと、旋律から全体の構成に意識を広げている気付きも見られました。

今回の題材を通して見出した歌い方は、全校合唱や学年合唱など、校内で取り組む歌唱活動に取り入れて、取り組んでいきます。



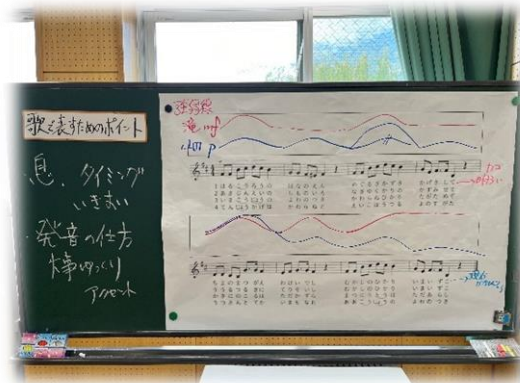
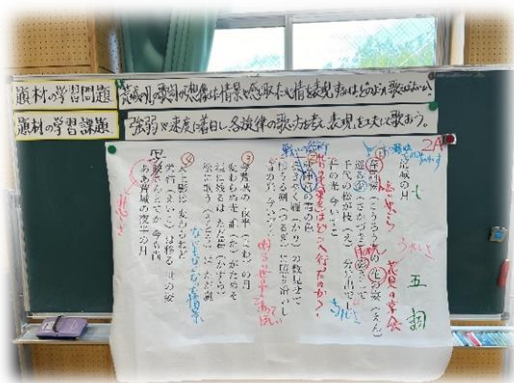
全体追求の様子



意見共有の様子



ペア追求の様子



本時の板書